

3月2日(月)より (※若干変更になる場合もございます。)

メガポート・イニシアティブ(MI) パイロット・プロジェクト開始!!

メガポート・イニシアティブとは、米国が世界に提唱しているもので、世界の主要港に放射線検知施設を設置することにより、港における積荷の検査能力を強化し、核物質その他の放射性物質の拡散・不法な輸送を防止することを目的とした取り組みのことです。我が国でも、その実現可能性を検証するため、横浜港南本牧ふ頭コンテナターミナル(MC-1・2)において、パイロット・プロジェクトを実施します。

具体的には、

従来どおり搬出入ゲートに進入して下さい。

ゲートに設置した放射線検知施設で、コンテナから出ている放射線を自動的に測定します。

*当該施設からは放射線を一切照射していませんので、人体や貨物に係る安全性に問題はありません。

放射線を測定した結果、

(i) 放射線が出ていない場合

検査終了です。搬出入手続きを行って下さい。

(ii) 放射線が出ている場合

税関にて追加検査（於 待機場又はゲート付近）を実施する場合がありますので、係員の指示に従って下さい。

ご協力をお願いします！ 財務省、国土交通省

(参考)「放射線」とは、エックス線、ガンマ線、アルファ線などの総称です。放射線は地面、空気、食べ物や宇宙からなど身の回りのものからも微量に出ています。